



渡辺 功 議員

利便性の高い循環バスを バス運行を検討

Q 近年、各自治体で循環バスが運行されている。高齢化社会での移動手段として、極めて重要な施策となっている。

①知多5市4町の運行実態と利用状況さらに運行に係る経費等について。

②平成14年に「循環バス運行検討委員会」を設置しているが、その時の議論内容は、

③以降8年が経過し、今回第5次総合計画において循環バス運行を推進するとした理由は。

④今後検討にあたっての運行コースおよび運行費用の考え方について。
⑤「デマンド交通」に対する見解は。

近隣市町の運行実態と利用状況、運行に係る経費

運 行 状 況	20年度利用状況（人）	20年度経費（千円）
大府市	9,800	65,700
東海市	212,000	69,400
知多市	78,000	34,700
常滑市	3,000	3,100
東浦町	232,000	48,300
美浜町	32,000	17,100
武豊町	H22年7月～試行運転予定	
南知多町	H22年10月～試行運転予定	

A ①大府・東海・知多・常滑市、東浦・美浜町で

運行中、各市町の運行形態・時間帯・経路、利用状況、経費はさまざまです。

②5回の検討委員会を開催し、時期尚早、タクシー助成の充実、路線バスの継続等を取りまとめました。

③路線バスの廃止、高齢化率の上昇さらに住民からの要望が多く出たためです。

④検討委員会で、デマンド交通も含めて適切な運行形態等を検討します。

境界変更に関して

行政サービス向上に努力

Q 高根台の居住者から「高根台を阿久比町から東浦町に行政区を変えることはできないか」との声が多くある。したがって「境界変更」に関して、町当局の見解を伺う。

①境界変更の定義等について。②県内における境界変更の事例と特徴について。③境界変更を実施する場合の手続き等、その流れについて。④具体的に本件の場合、どのような条件が整うと境界変更が可能か。

⑤高根台団地のケースで、異動する人口および本町の税収に与える影響額は。⑥本境界変更について町の見解は。

A ①廃置分合（いわゆる合併のこと）による市町村の新設または廃止を伴わずに、単に市町村の区域のみを変更すること。本町においても、過去に面的整備事業等による土地の形状変更等に伴う、市町の境界変更はありました。②土地改良事業など、面的整備事業等によるものがほとんどで人口異動の多い事例はありません。③関係する市町村からの申請に基づき、知事が県議会の議決を経て処分を行います。また、関係市町村の申請についても、それぞれ市町村議会の議決を行ふこととされています。④当地区が、東浦町に境界変更を要する確固たる理由が必要です。

人口異動数	町 全 体	高根台地区（割合）
人 口	25,149人	1,632人（6.5％）
世 帯	8,605世帯	567世帯（6.6％）

個人町民税

21年度町予算	15億5,800万円	高根台地区（割合）	1億3,400万円（8.6％）
21年度町納税義務者	12,800人	高根台地区（割合）	900人（7.0％）

固定資産税

21年度町予算	15億8,600万円	高根台地区（割合）	4,400万円（2.8％）
21年度町納税義務者	15,801人	高根台地区（割合）	500人（3.2％）

あわせて阿久比町、東浦町双方の住民（住民投票等）及び議会の意向の統一が必要であります。⑤2月1日現在で人口1,632人、影響額は約1億7,800万円です。⑥団地としては一体化しているものの、阿久比町が上下水道などのインフラ投資をしていること。また異動する人口が半端ではなく、かつこの住民が収めている税も水準も高く、阿久比町にとって税収に与える影響が大であり、基本的には認めにくいと言わざるを得ません。